

テーマ4

目指すべきまちの姿

／

まとめ・発表

／

投票

テーマ4では、テーマ1～3を踏まえて「目指すべきまちの姿」について、グループで話し合い、両地域の方向性について、検討しました。各グループでまとめた意見を全体で発表してもらい、最後に、高陽地域・白木地域の目指すべき姿として特に重要だと感じた内容に投票してもらいました。

「安心・安全」「若者が帰ってくる」「芸備線も含めた公共交通」「自然との融合」等に対しての投票数が高い結果となりました。

グループが想う目指すべきまちの姿	票数
◆安心安全なまちづくり(災害に強いまちづくり) ◆道路網の整備(基幹交通網の整備) ◆若者が帰ってくるまち(若者の定着化)	20
◆芸備線を拠点にしたまちづくり ・駅に飲食店(居酒屋)・カフェ・野菜販売・保育園を置くことで、駅に行きたくなる ・駅に行くための、ループバスの確立	20
◆安心して親子で遊べる子どもの公園、夜飲める場 ◆自然との融合を計れるあたたかい町！(観光マップの作成 など) ◆公共交通の利用促進(パーク&ライド・駐車場の整備 など)	19
◆生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ・世代と世代の繋がりが強い地域 ・戻ってきたくなるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統やしきたりにとらわれない	15
◆住みやすい町 ・利便性(スーパー、交通の便) ・コミュニケーションの場 ・飲食店(飲む・食べる・カフェ) ・子どもや高齢者が安心できる町	11
◆人の繋がりを大切にすまち ・ワークショップなどで、人とのコミュニケーションをつくり、発展させる	8
◆人々が互いに協力して活気あふれる場を作り、住むのが楽しいまちづくり ・ワークショップのような場をつくる ・空家が自由に使えるようにする	7
◆地域ふるさと計画 ・高陽地区内でも各地区での問題は個々に多様性に富んでる	7
◆町内会・自治体の繋がりを大切にし、助け合うまちづくり ◆スカイスポーツの町としてのPR活動を活かしたまちづくり ◆地域内外の人が楽しめるまちづくり	4
◆既存の交通機関でPRできる部分をつくって活性化させていく ◆道路インフラの整備 ◆駅近くに何もないのでコンビニやカフェなどアピールできる場をつくる	3



令和6年8月

No.01

高陽地域・白木地域

活性化プラン作成検討

ワークショップ ニュース

広島市地域活性推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029



高陽・白木地域のこれからのまちづくりについて考える

第1回目のワークショップを開催しました！！

高陽地域・白木地域では、平成28年にそれぞれの地域で「まちづくり提言書」を作成され、その後、それぞれの視点でまちづくりの取組が行われています。一方で、「若者の流出」や「高齢化」が進行しており、地域コミュニティをどのように維持していくかといった課題があります。

さらに、現在、芸備線に関してのあり方についても議論や検討がされており、それらも課題の1つとして受け止めつつ、将来を見据えた上で、「持続的なまちづくり」を実現するための「地域の取組」などを考えることが大切です。

そこで、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」など両地域のお住まいの方に話し合ってもらい、その内容を『活性化プラン』として取りまとめていきます。

ワークショップの手法を取りながら、全4回(両地域合同開催、地域別開催含む)で実施を予定しています。

第1回目は、7月27日に高陽公民館で開催し、10代から80代までの計40名が参加し、「両地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに様々な思いや考えを対話いただきました。

ワークショップの予定

7月

第1回(2地域 合同開催)

両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月

第2回(地域別で開催)

未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討!①

11月

第3回(地域別で開催)

未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討!②

1月

第4回(2地域 合同開催)

これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ

2. 事業の説明、活性化プランについて

3. WS 全体運営者の紹介

4. ワークショップ(ワールドカフェ)

・方法説明

・アイスブレイク:名札作成と自己紹介

・テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと

・これまでの取組について、情報提供

・テーマ2:これまでの取組と今後の展開①

・テーマ3:これまでの取組と今後の展開②

・テーマ4:目指すべきまちの姿

・まとめ

・発表

・投票

5. 閉会

次回

第2回

未来の地域の姿を実現するための取組・アイデアの検討！①

(白木地域)

日時：9月28日(土) 18:00～(2時間程度)

場所：白木公民館 第1研修室

(高陽地域)

日時：9月29日(日) 14:00～(2時間程度)

場所：高陽公民館 研修室1

1 回目は「両地域の“これまで”と“未来”について語る！」をテーマに話し合いました！

当日のワークショップの流れ

当日は、活性化プランを検討する趣旨や背景等についての情報提供を行い、テーマごとに対話を行うワークショップを実施しました。

最後に、すべてのグループからお話いただいた内容を発表していただきました。

事業の説明



ワーク



気づいたことをどんどんテーブルクロス（模造紙）に記入



席を移動してより多くの人と対話（ワールドカフェ方式）

グループごとに発表



投票



テーマ1 地域の誇り・大切にしたいこと

テーマ1では、「地域の誇り・大切にしたいこと」について思うことをグループで出し合い、それぞれの地域の誇りや両地域で共通していることなどを共有しました。自然や歴史のみならず、地域の行事や人とのつながりなど、地域の誇りや大切にしたいことがたくさん挙げられました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
自然・歴史・特産	・太田川河川敷 ・三篠川 ・旧中郡道 等	・郷土史研究会 ・狩留家なす 等
施設・公園	・白木山 ・安駄山 等	・神ノ倉山 ・ホタル ・雲海 等
祭り・イベント	・子供たちが外で遊べる環境 ・他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷 等	・ハングライダー、パラグライダーのテイクオフポイント ・ハングライダー（スカイスports）の聖地になっている ・スーパー、もぐベリー、モーモーミルク 等
人・まち	・亀崎神社 秋季例大祭の奉納花火「吹火」 ・伝統・文化・芸能・地域行事の保存及び継承 等	・ホタル祭り
芸備線・交通	・篠笛の達人（人的資産） ・人や町内のつながり 等	・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い 等
自然・歴史・特産	・自然・歴史が豊か ・野生動物が多い 等	・白木山 ・安駄山 等
祭り・イベント	・夏祭り ・学区内のイベント（ふれあい祭り・盆踊り・運動会） 等	・ハングライダー、パラグライダーのテイクオフポイント ・ハングライダー（スカイスports）の聖地になっている ・スーパー、もぐベリー、モーモーミルク 等
人・まち	・みんな知り合い ・共助気持ち ・人のつながり 等	・ホタル祭り
芸備線・交通	・基幹となる交通網 等	・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い 等
両地域に共通		
自然・歴史・特産	・自然・歴史が豊か ・野生動物が多い 等	・里山 ・星空 等
祭り・イベント	・夏祭り ・学区内のイベント（ふれあい祭り・盆踊り・運動会） 等	・子供神楽（市無形文化財） ・歴史が深い 等
人・まち	・みんな知り合い ・共助気持ち ・人のつながり 等	・地区内のコミュニケーション ・地域の人が大人になっても長く付き合いがある 等
芸備線・交通	・基幹となる交通網 等	・りょうま記念館 ・ネコ駅長やまと、副駅長ちどり 等

テーマ2、3 これまでの取組と今後の展開について

テーマ2・3では、「これまでの取組と今後の展開」について、「住みよさ」「安全・安心」「人が集まる・賑わい・楽しい」「自然」「その他」の5つの項目について、それぞれ地域で取り組んできたことや今後取り組んでみたいこと等を対話しました。

	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
住みよさ	・高陽ニュータウンの再利用や耕作放棄地対策 ・安佐北区と安佐南区を繋ぐ。 等	・人と人との関わりが多く、知らない人はいない。 ・人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町 等
安全・安心	・子どもの見守りをしっかりしている。 ・歩道の確保 等	・人と人との交流があるので情報がすぐに入ってくる。 ・空き家対策 等
人が集まる・賑わい・楽しい	・歴史資源活用 ・子供も楽しめるイベント賑わいの創出 ・芸備線へのアクセス向上で人があつまる場所の創出 ・観光マップを作り、観光客を呼ぶ。 等	・小中学生中心に祭りのメインを行う行事がある。 ・ネコ駅長りょうまの次代であるやまと、ちどりの2匹のネコ活用 ・いちご・ブルーベリー狩りの広報・広告、観光マップ 等
自然	・自然との融合を図れるあたにかいまち 等	・自然が多くあり、山登りやハングライダー等が楽しめる。 ・自然を守る為の環境整備を過度に行わない。 ・荒谷山・神ノ倉山へのアクセスをよくし、観光客を呼ぶ。 ・自然や野生動物、ホタル・オオサンショウウオを守る。 ・体験イベント開催 等
その他	・自治会・町内会でイベントを開く。 ・田舎暮らしの良さを宣伝して、若い人に住んでもらう。 ・白木地区への交通手段を増やす。 等	・町から出た若者を呼び起こせるような地域にする。 ・住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言える 等
両地域に共通		
住みよさ	・みんなで助け合いができる。 ・若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすくなればいい。 ・SNSを中心に発信していく。 等	・公共交通の充実(タクシー、ループバスなど) ・災害時の道路やルートの確保 等
安全・安心	・ひとり暮らしの高齢者を見守る、家の片づけをする。 ・災害に強い地域にする。(防災センターの設置、水害対策 など) ・道路の整備(狭く救急車が入れない道路や事故の多い場所もある) 等	・ひとりで暮らすの高齢者を見守る、家の片づけをする。 ・災害に強い地域にする。(防災センターの設置、水害対策 など) ・道路の整備(狭く救急車が入れない道路や事故の多い場所もある) 等
人が集まる・賑わい・楽しい	・自治会・町内会でイベントや地域の特産品を活用した行事を行う。 ・駅自体を訪れる場所にする(道の駅化 カフェなど) 等	・飲食店やカフェ、駅の中に居酒屋がほしい。 ・盆踊り・お祭りを行う。祭りを増やす、発信する。 等
その他	・地域自治を担ってきた方が高齢化しているので、継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる。 ・昔からある伝統と新しくはじめることどちらも平等に大切にする。 等	・町から出た若者を呼び起こせるような地域にする。 ・住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言える 等

